彩の国男声ｺｰﾗｽﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ2014に出演する

今年のおとうさんｺｰﾗｽ大会は、25年振りに、発祥の地川口市内での開催となった。

第1回おとうさんｺｰﾗｽ大会は、1990年(平成2年)8月26日、ｻｯﾎﾟﾛﾋﾞｰﾙ川口工場講堂を会場として開催された。志木ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞは、第3回(会場は、ｻｲｻﾝKSﾋﾞﾙﾎｰﾙ)から今回まで連続出演している。(演奏曲等については、「演奏記録」参照)

おとうさんｺｰﾗｽ大会の歴史について触れると、第1回から第4回までは、埼玉県合唱連盟が主催し、「おとうさんｺｰﾗｽ大会」の名称で開催された。第5回からは、埼玉県合唱連盟と全日本合唱連盟関東支部との共催になった。そして、第7回からは、名称が「関東おとうさんｺｰﾗｽ大会 IN○○」と呼ばれるようになった。開催地も第7回は、初めて埼玉県を出て、新潟県小出郷文化会館で開催された。

志木ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞは、第3回から第19回大会(2008年7月)「関東おとうさんｺｰﾗｽ大会 INぐんま」(みかぼみらい館で開催)まで連続出演していたが、関東おとうさんｺｰﾗｽ大会には、各県で3～4団体のみしか出演できないこともあり、その後は出演していない。
ただ、2009年からは、埼玉県内の男声合唱団のみが参加する「彩の国男声ｺｰﾗｽﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙIN2009」が発足し、志木ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞは、この大会には初回から今回まで連続出演している。

今年の「彩の国男声ｺｰﾗｽﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ2014」は、昨年と構成が変わり、第1部は、合同合唱講習『彩の国ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ男声合唱団』として、山脇卓也講師による「くちびるに歌を」の講習があった。第2部は、従来どおり、参加団体による演奏会。その後、会場をﾘﾘｱ1階展示ﾎｰﾙに移しての懇親会となった。

志木ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞは、第2部にのみ参加した。第2部は、14団体が参加した。10番目に出演し、矢澤先生の指揮により、立原道造作詩、木下牧子作曲「夢みたものは」と三好達治作詩、木下牧子作曲「鴎」を演奏した。ﾒﾝﾊﾞｰは、10名(T1；3名、T2；3名、bariton；2名、bass；2名)であった。演奏する前に、団の紹介等、1分間のｽﾋﾟｰﾁをしてから、演奏に入った。「夢みたものは」は、昨年のｻﾏｰｺﾝｻｰﾄで歌ったことがあり、かなり歌い込んだ曲である。曲想が頭に入っていて、他のﾊﾟｰﾄを聴きながら、落着いて歌うことができた。

「鴎」は、正式なｺﾝｻｰﾄでの演奏は初めてであった。この曲は、語りの部分と歌う部分のﾒﾘﾊﾘをどう演奏するか、ﾌｫﾙﾃとﾋﾟｱﾉの強弱、ﾘｽﾞﾑとなかなか物にするのが難しい曲である。2曲とも、持ち前の本番に強いおじんﾊﾟﾜｰを発揮して、まずまずの仕上がりであったような気がする。演奏後の山脇卓也先生の講評は、「志木ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞは、歌もお酒も楽しんでいる雰囲気がとても良いですね。木下牧子先生の作品は、ﾊｰﾓﾆｰがとても難しいですが、良くﾊﾓっています。ﾚｶﾞｰﾄが、少しﾌﾞﾂﾌﾞﾂ切れるので、ﾚｶﾞｰﾄを意識していくと更に良いｱﾝｻﾝﾌﾞﾙになると思います」と過分のお言葉をいただいた。

団員の減少と高齢化が進む志木ｸﾞﾘｰｸﾗﾌﾞであるが、それを逆手にとって、男声らしいﾊｰﾓﾆｰと円熟した演奏が出来るよう、歌とお酒をこよなく愛して練習に励み、来年はﾓｯﾄ感動的な演奏をしたい。　(T2；和氣敏夫記)